

# atama + 学習のポイント ノートをとって勉強しよう

## Point

### atama + 学習のときのノートのとりかた

先生からのアドバイスを聞いたり、自分なりの工夫をしたりしながら進めてみましょう。

#### 演習

単元名 日付 2022.2.27

加法

練習問題

(1)  $(-3) + (-2)$   
 $= -3 - 2$   
 $= -5$

(2)  $(+1.1) + (-3.2)$   
 $= 1.1 - 3.2$   
 $= -2.1$

(3)  $(+\frac{1}{2}) + (-\frac{2}{5})$   
 $= (+\frac{5}{10}) + (-\frac{4}{10})$   
 $= (+\frac{5}{10}) + (-\frac{4}{10})$   
 $= \frac{1}{10}$

$(+\frac{1}{2}) + (-\frac{2}{5})$   
 $= (+\frac{5}{10}) + (-\frac{4}{10})$   
 $= \frac{5}{10} - \frac{4}{10}$   
 $= \frac{1}{10}$

(4)  $(+\frac{1}{2}) + (-1.5)$   
 $= (+\frac{1}{2}) + (-\frac{3}{2})$   
 $= 0$

ポイント

分母が異なる分数を計算するときは、分母を揃える  
文字を小さく書くと  
間違える!!

問題と計算過程

加法 - 講義

解説

$$\left(+\frac{1}{2}\right) + \left(-\frac{2}{5}\right)$$
$$= \left(+\frac{5}{10}\right) + \left(-\frac{4}{10}\right)$$
$$= \frac{5}{10} - \frac{4}{10}$$
$$= +\left(\frac{5}{10} - \frac{4}{10}\right)$$
$$= \frac{1}{10}$$

#### 講義

単元名 日付 2022.2.28

加法と減法の手順

加法(たし算)

$$(+1) + (+2) = + (1+2) = +3$$
$$(-1) + (-2) = - (1+2) = -3$$
$$(-1) + (+2) = + (2-1) = +1$$

加法の交換法則 結合法則

$$(-1) + (-2) = (-2) + (-1) = -3$$
$$\{(-1) + (-2)\} + (-3) = (-1) + \{(-2) + (-3)\} = -6$$

減法(ひき算)

$$(+1) - (+2) = (+1) + (-2) = -1$$

たし算とひき算は、たし算と同じ  
加法と減法はひき算とひき算は、ひき算と同じ  
 $5 - 2 + 1 - 7 + 9 = 2 + 1 - 7 + 9$   
 $= 3 - 7 + 9$   
 $= -4 + 9$   
 $= 5$

減法の計算

$$(+\Delta) = +\Delta$$
$$-(+\Delta) = -\Delta$$
$$-(\Delta) = +\Delta$$

加法(たし算)の交換法則・結合法則

$$(-1) + (-2) = (-2) + (-1) = -3$$
$$\{(-1) + (-2)\} + (-3) = (-1) + \{(-2) + (-3)\} = -6$$

講義内容

#### 【問題を解くとき】

- 問題番号、問題式を書き写す  
(グラフ、図形も必ず描く)
- 途中式は省略しないで丁寧に書く  
(ひっ算は右のスペースを使う)

#### 【答え合わせのとき】

- 赤ペンで○×を必ずつける
- 間違えた問題はノートと解説を見比べ、  
間違えた個所を赤ペンでノートに書き写す

#### 【ノートをとる前に】

- 講義動画のタイトル、日付を書く

#### 【講義内容について】

- 「公式」「法則」「ルール」はノートに写す
- 重要なポイントをノートに書き込む  
※色ペンを使ったり、四角で囲うと良い

## Case

# ノートをとるメリット

1. ケアレスミスが少なくなり、正答率が上がる
2. 学習内容の理解がより深まる
3. 自ら間違えた原因を探し、直す力がつく

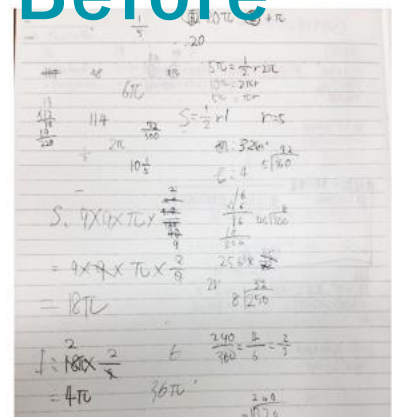
周りの人の方法をヒントにするのもおすすめ。  
どんどん進化させていこう！

### Aさんのノート

式の書き方、丸つけ、ポイントの残し方を見本を見ながら工夫。

計算ミスが減り、理解度もアップ！

## Before



## After

